

## 令和3年度(2021年度)第3回特別史跡熊本城跡保存活用委員会 主な意見

■日 時 令和4年(2022年)3月29日(火)午後2時から午後4時15分

■場 所 熊本市教育センター4階大研修室

■出席者 伊東(龍)委員長、伊東(麗)委員、小畑委員、河島委員、小堀委員、坂本委員、西嶋委員、服部委員、廣瀬委員、毛利委員、森崎委員、山尾委員、山田委員 計13人

### 【前回委員会の主な意見】

委員	委員意見	当日の回答	対応
	(発言なし)		

### 【議題】(諮問・報告)

#### 諮問I「熊本城みどり保存管理計画」について

委員	委員意見	当日の回答	対応
森崎委員	伐採した樹木の再利用・活用することも考えていただきたい。	伐採したクスノキから防虫剤・しおり・ベンチ等に利用する取組を試行で実施した。今後も色々な活用方法を検討したい。	今回委員会(令和4年度第1回)諮問項目の中で説明
西嶋委員	撤去等の時間的なスケジュールについて、景観が激変しないように年間30本程度とするとあるが、具体的な計画はないのか？	具体的にお示しできるものは今の段階ではないが、事務局としては対応優先度が高いものから選びながら実施する案を考えている。	〃
西嶋委員	計画を検討・策定する段階で地域の方々にヒアリングを行ってほしい。周辺の景観についてもかなり変わる部分があることから、どういう方針を持っているのか丁寧に周辺住民へのヒアリ	地域代表として西嶋委員・毛利委員には御相談しながら進めていきたい。	〃

	ング・説明をお願いしたい。		
毛利委員	藤崎台のクスノキや、古城公園の樹木など、もう少し詳しく説明してほしい。	藤崎台のクスノキについては管理部署が異なるが、今回策定する計画でクスノキ群について紹介したい。 古城堀端公園の桜は危険木、石垣上の樹木は遺構影響木となっているものが多い。景観にも影響することから、これらの樹木については地域の方としっかりと話をさせていただきたい。	今回委員会(令和4年度第1回)諮問項目の中で説明
毛利委員	二の丸広場の樹木だが、景観比較の写真で残となっている樹木も見通しをさえぎっている。	今回提示させていただいたのは、危険木・遺構影響木を撤去した後の景観。二の丸広場の樹木のうち撤去予定の樹木は危険木と判定されたもの。遺構影響木は二の丸広場にはないという状況。まずは危険木・遺構影響木を撤去し、今後の景観については時間をおいてから詳しい審議をしていきたい。	〃
廣瀬委員	危険木でなければある程度、残して良いと思う。 見学通路から見て邪魔しているものは景観としてどうかと思うが、広場の内部であれば危険木でないものは、そういった視点で考えても良いのではないか。		〃
山田委員	特別史跡内には熊本県・熊本市・指定管理者など色々な管理者としっかりと連携をとって「熊本城みどり保存管理計画」に沿って特別史跡内の緑が保全され、撤去すべき樹木は撤去されるという流れを上手く作ってもらいたい。		〃

山田委員	古樹・大樹の 1 本ごとに解説サインを設置すると資料に記載されているが、具体的にはどういう解説サインで、どういう説明をして市民に伝えていくのかお聞きしたい。	解説サインを大きくすると景観を阻害してしまう可能性がある。QR コードを用いるなど詳細情報をそこに入れていくという技術もあるため、古樹について興味のある方が詳しく知ることができるといいと思う。古樹について興味のある方が詳しく知ることができるといいと思う。	
山尾委員	全体の計画はこれで良いと思うが、伐採した後は補植をするのか、熊本城は何本くらい樹木が存在するのが適切なのか、どこまでを範囲とするのかなど検討する必要がある。どのような考え方で今後補植を進めていくのか、どう見直すとかが、対応していくとか、ある程度の道筋をどこかで記述してほしい。	植栽については『熊本城整備基本計画』の中で謳っていくことになると思うが、当面は保存管理という意味で保存管理計画を策定し補植の対応をしていきたい。補植を実施するのであれば桜のみ。桜は密集している所も多いのと、史跡を守らなければならないのが一番にあるので、影響のない植え方を検討しながら補植に努めていきたい。	今回委員会(令和4年度第1回)諮問項目の中で説明
伊東(龍)委員長	計画は基本的にこれで良いと思うが、こういう議論をする場、そして近隣住民に説明する場をもってほしい。		〃
河島委員	不開門の右側に8~9本のクスノキまたはスギが密集している所は観光客も全く来ないので、こういう場所は伐採しても良いのではないかと。年間30本伐採ではなく50本でもいいのではないかと。		〃
小堀委員	特別史跡内は現状変更が必要であるので伐採となると文化財保護委員会に諮らないといけなくなると思う。その場合、景観という面だけで伐採が認められるのかどうか考える必要がある。急に伐採を進めると大きく景観が変わるので長いスパンで進めていき、赤星閑意が描いた幕末の姿に近づけていくといった動きが個人的には良い。		〃
西嶋委員	前回委員会で私が「みどりの整備基本計画」が必要ではないかと意見申し上げた。「緑の基本計画」があるが緑被率は中央区は市全体の1/2。中心市街地は緑化重点地区であり、熊	あくまで史跡整備に関しては調査研究の成果を踏まえてトータル的に考えていくべきと認識している。今後の検討課題としてしっかり認識したい。	

	本城は基幹公園となっていることから、これだけの中身で足りるのかと思う。 「みどり保存管理計画」はこれでとどめるにしても総合的な計画を立てる必要がある。		〃
伊東（麗） 委員	撤去するということは石垣に生えている樹木を伐って、根も取って、石垣を組みなおすのかと尋ねたが、それはできないという回答だった。それは果たして保護になっているのか不思議に思う。危険木も同様で、市民から取りあえず伐ったという誤解を受けるとよくない。伐ったあとの切株について、今後、どうするのかという検討に早急に入っていただきたい。	安全上も問題ないような対処の仕方を考えたい。石垣面については遺構への影響を考えると難しい点もあるが、文化財部署と協議しながら回答していきたい。	今回委員会（令和 4 年度第 1 回）諮問項目の中で説明
伊東（龍） 委員長	計画に関して今日報告いただいた分については了承。 具体的な実施の段階では景観に関する点など配慮をお願いしたい。		〃

## 報告 1 熊本城復旧取組状況について

委員	委員意見	当日の回答	対応
	発言なし		

## 報告 2 熊本城特別公開の実施状況等について

委員	委員意見	当日の回答	対応
廣瀬委員	秋のお城まつりの時に三の丸駐車場には駐輪場があったか？ 加藤神社に行きたい方が自転車を門の前に止められていた。 あの状況はよいものか。自転車でどこまで行ってよいのか。 秋のお城まつりの際は三の丸駐車場にバイク・スクーター・自転車の臨時的な駐輪場を作っただけであれば市民の方も使いやすいと思う。ご検討をお願いしたい。	バイクの駐輪に関しては、三の丸にはなく二の丸駐車場になる。 自転車についてはどこまで行っていいという取り決めはない。加藤神社に自転車で来られる方もいらっしゃると思う。歩行者に危ないということがあれば、加藤神社とも協議していきたい。	
森崎委員	入園者 35 万人のうち県内・県外・海外の割合など資料はあるか？ 今後特別公開とイベントをやっていくときに、県内向け・県外向けなどイベントに対して対策を打ちやすいと思うので検討していただきたい。	海外の方については、現在インバウンドが入ってきていないためゼロ。県内・県外については今のところ資料はない。	
小堀委員	シェアサイクルについて、三の丸・二の丸・博物館から乗っていく人はいても、返しにくる人はあまりいないのでは。ばらつきや偏りがでるときの対策は？	運行事業者も電動自転車を含め各ポートの車両台数はアプリ上でオンタイムで管理できるので、トラックで適宜再配分をして対応する。	
毛利委員	利用する方は市内だけではなく市外の方もいらっしゃると思うので、例えば北岡自然公園や博物館など目的をもって自転車を利用したいと思われる方もいるだろう。 ここに行けば駐輪場があるので安心して見学できますよと案内できれば親切だと思う。	目的地の掲示の仕方は勉強させていただきたい。 アプリの地図上で目的地の表示も可能となっているので、来訪者の方に利用していただくことも進めていきたい。	

坂本委員	グリーンスローモビリティの車両は電動か？電動であることを前提に、メーカーが限定されるようなものか？ 将来事業化する場合には熊本の企業が作っているというような熊本城にふさわしいものを選んでほしい。	国の指定したメーカーや車両がグリスロとして認められる。 そういった車両のなかから、今回の社会実験や将来事業化する際の車両を選ぶことになる。 今後、事業化の検討を行う中で車両メーカー等についても考えていきたい。	
河島委員	県外から来た人が上通や下通で食事するために自転車で来た場合、自転車自体にナビがあってここに停めるというような表示があるのか。エリア外、例えば水前寺までも行けるのか。 上通・下通としては十数年前に自転車問題で苦労したことがあるので、こうした自転車がアーケード内に放置されることが増えないか危惧している。十分検討していただきたい。	車体に GPS を搭載しており、リアルタイムで地図上に自分がどこにいるか分かるし、地図上でポートの位置を探すこともできる。 エリア外では課金が続く。スタートとしては中心市街地のエリアで始めることになるが、状況を見ながらエリア設定の拡大も検討していく。	

## 【その他】

委員	委員意見	当日の回答	対応
西嶋委員	復旧基本計画は5年経ったので、新年度に見直し・検証をされるとのことだった。 我々の委員会は保存活用計画があり6年目に入るので、保存活用がどのように進んできたのかの検証を、上位計画に基づいてしていただきたいと1月にお伝えしている。 そのような検討も新年度にしていきたい。	発災以降の活用の総括については市としては重要と考えている。どのような形で総括するのは今後検討・相談させていただきたい。 なお、熊本城復旧基本計画の見直しについては、上位計画である保存活用計画、それを所管する保存活用委員会との連携は不可欠と考えている。詳細については次回以降の委員会で改めて報告させていただければと思う。	熊本城復旧基本計画検証委員会の開催については、今回委員会(令和4年度第1回)資料5の中で説明